

令和6年度第6回高田区地域協議会 次 第

日時：令和6年10月21日（月）午後6時30分～
会場：高田城址公園オーレンプラザ 研修室・会議室

- 1 開会

- 2 報告事項
(1)こどもプールの廃止について

- 3 自主的な審議
(1)自主的な審議のテーマについて

- 4 事務連絡

- 5 閉会

【次回協議会 11月18日（月）午後6時30分～：高田城址公園オーレンプラザ】

【次々回協議会 12月16日（月）午後6時30分～：高田城址公園オーレンプラザ】

こどもプールの廃止について

1 廃止の経緯

昭和55年から平成2年にかけて合併前の上越市12箇所に設置されたこどもプールについては、利用者が20年程前と比較し9割減少していることを受け、利用実績のある保育園や地元町内会、関係部局へ聞き取りを行った結果、少子化の影響等により公園機能としてプールの必要性が非常に低下し、現状の公園利用目的との乖離が確認されたことから、令和6年度をもって全プール施設を廃止する。

2 こどもプール所在地等

地区	公園名	所在地	地区	公園名	所在地
高田	柳善公園	東城町二丁目	金谷	いちょう公園	昭和町一丁目
高田	お馬出し公園	大町二丁目	直江津	古城公園	港町一丁目
高田	中島公園	北城町三丁目	直江津	とどろき公園	栄町一丁目
高田	大野公園	高土町二丁目	直江津	毘沙門公園	五智一丁目
高田	新町公園	新町	有田	桐ノ木公園	佐内町
新道	上稲田公園	稲田四丁目	有田	春日新田公園	春日新田五丁目

3 利用者数の推移



4 こどもプール跡地の整備方針

地域の利用目的に応じた公園へ再編するため、地元町内会とプール跡地の整備方針について協議を行う。

9/17 第5回地域協議会 自主的な審議のテーマに係る委員からの意見等

○中・高校生の居場所づくり

○中・高生の学習環境の整備

—主な意見等—

(関係者からの情報収集)

- ・教育委員会などから地域移行の説明、移行後の対応について説明を聞きたい
- ・部活動の顧問の先生や保護者の意見も聞きたい
- ・当事者である高校生の声を聞くべき

(対応策案)

- ・ゆとり教育の反省から、中高生の活動の受け皿を用意しておくことが大事。受け皿を民間が担う場合には行政からの経済的支援が必要
- ・管理人を置くなど安全性が担保された居場所
- ・上越教育大学の学生にもっと高田の街なかに来てもらって中高生に勉強を教えたり、交流するなどができないか。上越教育大学のサテライトキャンパスの設置

(その他)

- ・経済的な問題で代替りの活動が見つけられない生徒もいる
- ・高田に住んでいる若い子たちがわくわくして住んでもらわないとどんどん町を出ていってしまう
- ・部活動の地域移行の背景は教員の働き方改革、その根底には教員不足
- ・教員の働き方改革なのか、部活動が地域移行なのか、学生の居場所づくりなのか、それとも商店街の空きスペースを活用した学生の居場所づくりなのか

○LED 防犯灯の設置補修を公費で行うことを求める

—主な意見等—

- ・LED 防犯灯設置費補助金の町内別利用状況を市に依頼中

○雁木の保存について

—主な意見等—

- ・雁木がどんどん消えている
- ・市では、まちなか居住推進事業や雁木整備事業補助金等により雁木の保存に努めている

2024年10月20日

高田区地域協議会 澁市 徹

「中・高校生の居場所作り」と「中・高校生の学習環境の整備」について

話し合いのまとめ(案)

1. 高田に住んでいる若い子たちが、わくわくして住んでもらわないと、どんどん街を出て行ってしまう。
2. 経済的な理由から、自主学習や話し合うための場所を見つけられない子供たちがいる。
3. 当事者である高校生の声を聞くべきである。高校生は明確に自分の意見を述べることができる。
4. 中高校生をはじめとする子供たちからは、地域の中で居場所が欲しいという声を聴いている。
5. 高田の街中に、中高校生が学習に専念できる施設環境の整備が必要であるという話を聞いている。

(以上)

寺町のまちづくりに関するアンケート調査のお願い

日頃、当市の市政全般にわたりご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

上越市では、令和6年4月に「上越市通年観光計画」を策定し、高田地域を重点的取組地域に位置付けています。寺町エリアにおいては、住宅地としての住みやすさと寺町らしい美しい街並みが両立した状態を目指したいと考えています。



※CGはイメージです。今後協議により変更になります。

この取組の一環として、今年度は「浄興寺大門通りの修景整備計画」を作成する予定です。本アンケートは、「浄興寺大門通り」の利用状況や「寺町」に対するイメージ、理想像などをお聞きし、今後の計画や取組の参考にすることを目的として実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年10月

上越市文化観光部魅力創造課

【調査対象者】

本アンケートの対象者は、寺町二丁目、寺町三丁目にお住まいの方々です。各世帯にお送りしていますが、世帯内のどなたがご答えいただいても構いません。

【回収方法】

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に封入の上、

10月31日（木）までにお近くのポストへ投函ください。（切手は不要です。）

本アンケートは、WEBでの回答も可能です。

右記QRコードからフォームにアクセスし、ご回答ください。

※WEBにて回答された方はアンケート票の送付は不要です。



【個人情報の取扱い】

本アンケートは調査の目的以外に使用せず、個人情報やプライバシーに関わる情報が公表されることはありません。

【お問い合わせ先】ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。（土日祝除く）

上越市文化観光部 魅力創造課企画係 担当：藤村、市村（TEL：025-520-5739）

（⇒ 裏面へ続く）

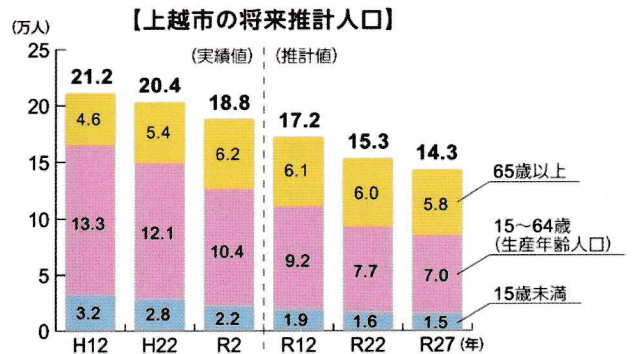
上越市通年観光計画について

なぜ、上越市で「観光」に取り組む必要があるの？

● 担い手不足により、歴史・文化の伝承の危機

人口減少の影響として、空き家の増加やそれに起因する街並みの喪失、さらには地域経済の規模縮小などが懸念されています。

また、地域資源を守り、生かす「担い手」も減少していくため、これまで守り伝えられてきた大切な歴史や文化が失われてしまう恐れがあります。



出所：総務省「国勢調査」および、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30年3月推計)」 ※令和2年の数値は不詳補充

● 地域課題を解決するための「観光」

これらの課題解決に向けて、地域資源を生かした新たな生業創出による歴史・文化の伝承や、交流人口の拡大による消費額の向上が期待できる観光の活性化に取り組む必要があります。

また、若者が働きたくなる産業や起業しやすい分野の一つとして「観光」の取り組みを推進します。

【年代別に見た5年間の転入超過・転出超過(純移動数)】

